

単元名 5 自らの考えを 一多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く 配当時間 4時間

単元の目標 (1) 具体的な題材を基に、その価値についてまとめることができる。  
 (2) 観点を決めて問いと考えを書き出し、表にまとめるなどして分析することができる。自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を書くことができる。  
 (3) 粘り強く表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書くこととする。

### 標準的な展開例

12210208\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 批評文について知り、題材を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本教材のねらいと学習の流れを捉え、本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 批評文について知り、批評する題材を選ぼう。</li> <li>○ 「批評文の例」(p. 132)を読み、話題に対する評価や筆者の主張を捉える。</li> <li>○ 「批評文の例」(p. 132)の下段を参考に、例文の構成を確認する。</li> <li>○ 批評する題材を挙げる。</li> </ul> <p>○ 批評文に書きたい題材を絞り込む。</p> <p>2 観点を決めて分析し、構成を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 観点を決めて分析し、構成を考えよう。</li> <li>○ 選んだ題材の分析の観点を決め、問いを出す。</li> </ul> <p>○ 問いに対する自分の考えを書き出し、友達と交流する。</p> <p>○ 構成を考える。</p> <p>○ 次時の予告を聞く。</p> <p>3～4 推敲して仕上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 論理の展開を工夫して、説得力のある批評文を書こう。</li> <li>○ 前時に考えた構成を基に、下書きをする。</li> </ul> <p>○ 友達と助言し合い、推敲して批評文を仕上げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもたせる。</li> <li>・ 傍線の引かれた表現に着目して読ませ、筆者の評価と主張を捉えさせる。</li> <li>・ 例文に傍線を引かせたり、該当部分を囲ませたりすることで視覚的に構成を確認させる。</li> <li>・ 「知多の友」を使用する。</li> <li>・ 地域社会の中で見聞きしたことや、メディアを通して知ったこと、本や映画など、気になった事柄を挙げさせる。</li> <li>・ 「発想を広げる」(p. 240)を参考にしたり、マッピングの手法を用いたりして、広くテーマを探させる。</li> <li>・ 友達と題材を挙げさせ合うとよい。</li> <li>・ 書き出した事柄について、批評文の題材としてふさわしいかどうかを吟味させる。</li> <li>【評】 題材を選ぶ活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・ 「②分析する」(p. 131)を参考に、どのような観点から分析することができるかを考え、観点ごとに問いを出させる。</li> <li>・ 「知多の友」を使用する。</li> <li>【評】 観点を決めて分析する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>・ 観点ごとに客観的に分析し、自分の考えを書き出させる。</li> <li>・ 具体的な根拠を挙げて答えを導くようにさせる。</li> <li>・ 自分の考えを基に友達と意見を交流させて、さらに考えを深めさせるとよい。</li> <li>・ 「知多の友」を使用する。</li> <li>【評】 観点を決めて、問いと考えを書き出す活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・ 意見と根拠の関係など説得力のある論理の展開を考えさせる。</li> <li>・ 資料を引用して説得力をもたせるようにさせる。</li> <li>・ 「構成を考える」(p. 132), 「批評文の例」(p. 132)の下段を参考に、批評文の構成を確認させる。</li> <li>・ 「知多の友」を使用する。</li> <li>・ 次時から批評文を書き始めることを予告し、情報収集をしておくよう指示する。時間に余裕があれば、情報収集を開始させる。</li> <li>・ 600～800字で書くようにさせる。</li> <li>・ 「批評するときの言葉」(p. 132)や「批評文の例」(p. 132)下段の文系を参考にさせるとよい。</li> <li>・ 「知多の友」を使用する。</li> <li>【評】 批評文を書く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・ 3～4人のグループで互いの文章を読み合い、助言させる。</li> </ul>

○ 批評文を読み合い、そこから学んだことを共有し合う。

○ 学習を振り返る。

- ・ どのように分析・吟味して批評をまとめたか。
- ・ どのような工夫をして文章にまとめたか。

・ 友達の助言を踏まえて推敲し、批評文を清書させる。

【評】 推敲して批評文を仕上げる活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する

・ 文集にしたり、4人程度のグループで批評文を読み合ったりさせるとよい。

・ 分析の仕方や資料の引用の仕方、論理の展開や適切な言葉の選び方などに着目して評価し合うとよい。

#### 【 備 考 】

文章を読むときには、内容の信頼性や客観性を吟味し、自分の知識や経験と比べて納得できるか否かを検討して、批判的に読むことが大切である。同じテーマに関する二つの文章を比較しながら、評価することを通して、批判的に読むことを学ばせたい。さらに、自らの考えを批評文として書くことで、説得力ある文章にするための工夫を学ばせたい。多様な考え方の中で対象を評価することで、自分の考えを確立させていきたい。

また、こうした学習と関連させながら、社会的な課題などについて、違う立場からの意見を生かし合い、論理的に合意を形成する話し合いの仕方も学ばせたい。

「語彙を豊かに」(p. 284)